＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
北部地域振興交流拠点施設（仮称）整備事業

1 事業概要

【経緯】
北部地域振興交流拠点については、県市の共同事業として、昭和６０年のテクノグリーン構想以来、検討を続けてきましたが、令和４年度からの県の５か年計画に「北部地域振興交流拠点の検討推進」が位置づけられたことを踏まえ、本格的な検討を再開しました。

【目的】
県と連携して整備を進める北部地域振興交流拠点への導入機能等について検討し、基本構想を策定します。

【内容】
産業振興や交流機能の活性化を図るため県と連携して整備を進める北部地域振興交流拠点の導入機能等を検討するとともに、老朽化する本庁舎の更新検討に合わせて、北部地域振興交流拠点施設への市役所機能の一部移転も含め検討し、基本構想を策定します。

2 特徴やPRポイント

北部地域振興交流拠点の整備により産業振興や交流機能の活性化が図られ、市役所の分庁舎方式の解消による行政機能の集約、県市の行政機能の連携により、市民サービスと利便性向上が期待できます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　大木、松岡
連絡先　℡048-524-1115（直通）　　内線　215

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
子育て支援･保健拠点施設整備事業

1 事業概要

【目的】
老朽化が進行する保育所や保健施設、診療所等の再編及び機能移転と、子どもの遊びの場・学びの場や子育てに関する相談機能を有する（仮称）こどもセンターの整備を複合的に行い、子育て・保健に係る機能の充実や連携強化を図ります。

【内容】
４棟５施設の複合施設として整備します。
・（仮称）こどもセンター及び（仮称）新石原児童クラブ（約3,060㎡）
・（仮称）保健センター（約2,100㎡）　・（仮称）中央保育所（約1,700㎡）
・休日・夜間急患診療所（約320㎡）

【効果】
・行政と民間事業者が連携し、子育て支援と健康づくりに関するきめ細かいサービスを提供します。
・遊び、学びと相談の場が併設された、子育て世代の憩いの場を整備し、子どもの健康や発育、発達に関する不安、保護者の心身の不調や育児不安など、複合的な問題の早期発見や深刻化の防止に繋げていきます。

2 特徴やPRポイント

・令和５年度は設計業務を実施しました。DBO方式を採用し、建設・運営事業者が設計段階から関わったことで、無駄のない施設配置、動線計画となりました。
・（仮称）こどもセンターの運営には、埼玉県内、熊谷市内の子育て支援の現状を良く知る民間事業者が関わります。地域の実情に合わせた、多様な遊びの場、学びの場を提供します。
・屋外には子どもの遊び場のほか、ウォーキングコースや健康遊具コーナー等を設け、健康づくりのために多世代で利用できる施設とします。

3 その他

・令和６年度は、４月～６月に既存施設の解体及び造成工事、７月から建設工事を行う予定です。

※ 資料の有無（ (有) ・ 無 ）

担当者　福祉部こども課　　担当　茂木･新島
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　255

○子育て支援・保健拠点施設イメージ図



全体外観透視図（南東鳥観図）



全体外観透視図（北西鳥観図）



外観透視図（仮称）こどもセンター、（仮称）新石原児童クラブ



外観透視図（仮称）中央保育所



外観透視図（仮称）保健センター



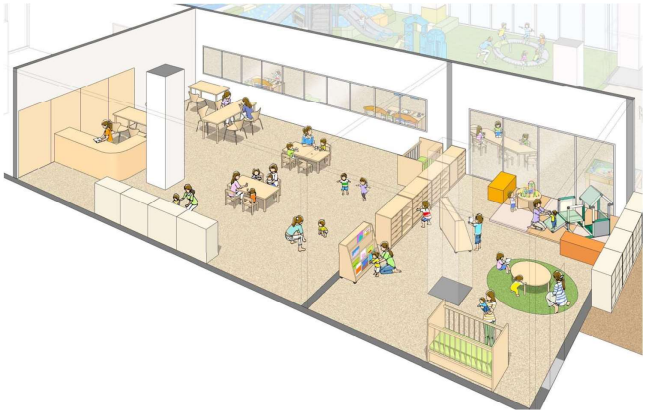
外観透視図 休日・夜間急患診療所



内観透視図 （仮称)こどもセンター エントランスホール



内観透視図 （仮称)こどもセンター プレイルーム



内観透視図 （仮称)こどもセンター 乳幼児室・子育て広場



内観透視図 （仮称)こどもセンター 中高生向けスペース



内観透視図 （仮称)こどもセンター 中庭



内観透視図 （仮称)こどもセンター 軽体育室

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）第2中央生涯活動センター整備事業

1 事業概要

【目的】
老朽化した施設や更新の難しい施設を集約・複合化し、世代、活動分野を超えて、様々な人々が「集まり」・「出会う」交流の拠点となる施設を整備します。「生涯」にわたってあらゆる分野の「活動」を行える施設を目指します。

【内容】
令和１０年４月の供用開始に向け、令和６年度は建築工事に向けた施設の詳細設計を行います。また、整備地東側道路（市道70217号線）は、施設の接道要件を確保するとともに、雨水対策を兼ねた整備を行います。

【経緯】
令和４年度に基本構想・基本計画策定、民間活力導入可能性調査を実施しました。令和５年度は基本設計、地質調査を実施しています。

【効果】
多様な利用者が訪れることを想定し、安心して利用できる施設を整備します。

2 特徴やPRポイント

（仮称）第２中央生涯活動センターの基本理念は「つながるフィールド　～生涯活動拠点～　」です。施設は２階建ての計画です。１階中央にはスクラムホールという地域活動、市民活動に自由に活用いただけるスペースを配置します。その周りに比較的小規模の活動室を１１部屋配置します。２階には２００名が入れる活動室と体を動かす活動や音楽活動での交流ができる多目的室を配置します。

■建設予定地：熊谷市石原１４０７―１及び１４０１―５
既存建物：勤労青少年ホーム、勤労者体育センター、勤労会館、防災まちづくり倉庫等
■延床面積：約３，０００㎡

3 その他

ZEBReadyの省エネ性能水準に適合する施設とします。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　市民部市民活動推進課　　担当　遠藤
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　330



鳥瞰 イメージ



北側外観 イメージ



南側外観 イメージ



内観 イメージ



内観イメージ



内観イメージ



内観イメージ



内観イメージ

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
スマートシティ推進事業

1 事業概要

【目的】
デジタルと人の力により地域の快適性と持続性を確保するため、スマートシティの取組を推し進め、市民参加とデータ活用による先進的なまちづくりの実現を図ります。

【内容】
①【マイナンバーカード認証システムの構築】都市ポータルアプリ「クマぶら」上にマイナンバーカードを活用した個人認証機能を追加実装します。Ｒ６年度は図書館利用登録申請システムと連携し、市民生活の利便性を高めます。
②【グッドデザイン賞への応募】デジタル技術を活用した暑さ対策の取組「暑さ対策スマートパッケージ」や今後のクールシティへの取組で「グッドデザイン賞」へ応募し、熊谷スマートシティの価値の持続を目指します。
③【立正大学との共同研究】立正大学と連携したデジタルデザイン企画「気象観測機器の開発及び気象データの分析」を行い、快適なまちづくりのための技術・ノウハウを蓄積します。
④【ＤＸアイデア・事業創造の流れづくり】中学・高校生以上の若者や本市に関わる事業者、教育関係者等がＷＥＢ上でオープンにつながり、熊谷スマートシティに関わるビジネス交流や起業アイデアなどを話し合い、事業化につなげる場「コミュニティラボ」を始めます。
⑤【データ活用まちづくり】市民参加によるデータ分析やデータ活用を通じて、サービスの利用促進や改善、地域課題の解決に向けた施策の立案に活用します。

【効果】
デジタルコミュニティツールの活用と、市民参加とデータ活用によるまちづくりを目指します。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
○地域の課題解決のため、公（行政）・民（企業・団体等）・学（学術機関）が一体となって、データを活用したまちづくりを進めています。

【ＰＲポイント】
○本市の気候特性に着目したデジタルによる暑さ対策は唯一無二の取組であり、グッドデザイン賞の受賞は熊谷市の誇りにつながると考えます。
○小・中学生対象の「シーンスケッチコンテスト」、中学・高校生以上を対象とした「コミュニティラボ」、専門学校生、大学生以上を対象とした「デジタルデザイン企画」に一体的に取り組むことで、新たなアイデアを熊谷スマートシティ及び市内産業ＤＸに取り入れる流れを構築します。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当課　市長公室政策調査課　　担当　市原・森
連絡先　048-524-1111　　内線　316・368

1　マイナンバーカード認証システムの構築について

事業概要

熊谷市・都市ポータルアプリ「クマぶら」を入り口とした、汎用性の高い公的個人認証サービスと連携したシステムを導入し、熊谷市立図書館の利用登録のために来館することなく利用登録手続きが完了する「図書館利用登録申請システム」を構築する。

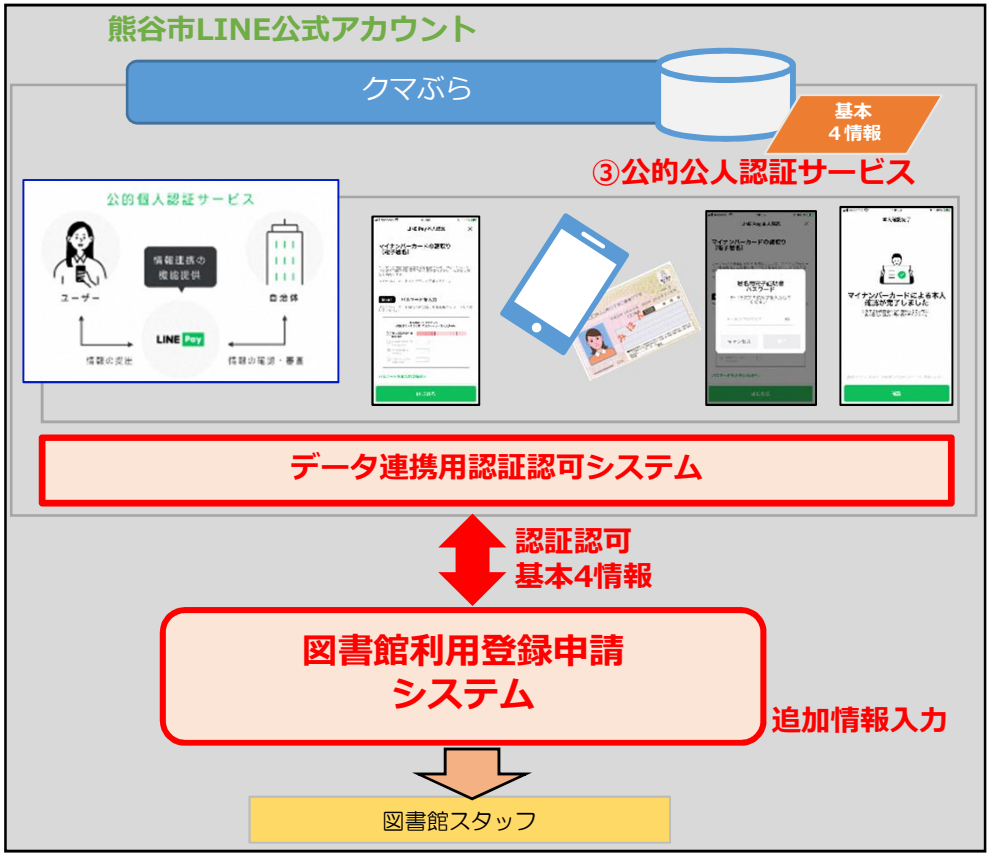
具体サービス

①図書館利用登録申請システムの実装
・電子書籍の利用者は図書館へ来館せずに、利用登録から利用までが可能となる。

②都市ポータルアプリ「クマぶら」機能強化
・公的個人認証サービス連携による本人確認
・データ連携のための仕組みを構築し、APIインターフェースを介した認証認可、基本4情報※の受け渡し
※基本４情報（氏名、生年月日、性別、住所）

③公的公人認証サービスの利用
・汎用性の高い公的個人認証サービスの利用により、施設予約や補助金交付決定等の他業務への応用が見込め、スマートシティや自治体DXの取組みの推進に寄与する。

サービスイメージ図



2　グッドデザイン賞への応募について

・本市はこれまで「暑さ対策」に数多くの施策を打ち出し取り組んだ結果、環境省「熱中症予防声掛けプロジェクト」「ひと涼みアワード」においてトップランナー賞（日本一）受賞、殿堂入りを果たしました。（2022年熊谷市立荒川中学校がトップランナー賞受賞、2012年から2019年の8回中、熊谷市がトップランナー賞を6回受賞、2020年に殿堂入り）

・暑さ対策の第２ステージとして、気候特性である「暑さ」に対しデジタルを活用した取り組みを行う。都市ポータルアプリ「クマぶら」で6月から「暑さ対策スマートパッケージ」サービスを提供し、市民が暑さと共存しながら健康を守る行動変容を促していきます。

・デジタルの力で地域の気候特性と共存する取り組みは、地域課題を解決する独自性のあるデザインであることからグッドデザイン賞（カテゴリー：取組み）に応募します。（応募開始：R6.4月～）

3　「コミュニティラボ」、「デジタルデザイン企画」について

市民参画の視点

・熊谷スマートシティは、**コミュニティ、持続性、（まち・ひとの）ストーリーを重視**しつつ、各種の仕組みが好循環を生むエコシステムの効率的な構築を目指します。

・「シーンスケッチコンテスト」、「コミュニティラボ」、「デジタルデザイン企画」を連携して実施することで、地域の子どもたちの「社会にデジタルで参画する」意識を高め、ひいては地域の魅力を高め、産業を支えることにつながっていく、という流れを作り、熊谷市の企業活動支援・産学連携・スマートシティの共通の軸とする。

事業名	①シーンスケッチコンテスト（R5年度から）	②コミュニティラボ（R6年度から）	③デジタルデザイン企画（R6年度から）
目的	・市の未来を共に考える人材の育成、市の政策への参考	・地域に必要なDX人材やスキルの育成	・学生起業や産業をDXへとつなげる仕組みを構築
対象者	小・中学生を想定	中学・高校生以上を想定	専門学校生、大学生以上を想定
内容	・未来の熊谷市を描くシーンスケッチコンテストの開催	・産業系のコミュニティ（交流や意見交換の場）をWEB上に設置 ・DXアイデア・事業創造のルートマップ（ロジックモデル）の作成 ・キックオフイベント（8月）の開催	・市の気候特性である「暑さ」の観測を行い、観測機器と観測方法・マニュアルをパッケージ化 ・5月からワークショップ開始（4回程度、うち1回で気候観測）、9月に中間報告、3月に最終報告
その他	Ｒ５年度応募総数283		

・市内産業DX
・ＧＣＦ
・ビジネス化

・スマートクールシティの取組み（※）
・リアルとデジタルのまちづくりの融合

※　スマートクールシティの取組み
暑さ対策スマートパッケージに取り組みつつ、水辺体験空間、手入れの不要な通風型日除け（フラクタル日除け）、ミスト等をまちなか再生と連動して導入を検討。

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
キャッシュレス環境整備事業

1 事業概要

【目的】
デジタル化による市民サービスの向上を図るため、令和５年度に本庁舎に導入したキャッシュレス決済機能付きレジの維持管理を行うとともに、各行政センターにもキャッシュレス決済システムを導入します。また、「クマＰＡＹ」での支払いにも対応します。

【内容】
○キャッシュレス化対象
証明発行手数料等（住民票の写し、戸籍関係証明書、所得証明、納税証明等）
○設置内容
・各行政センター
キャッシュレス決済システム
・本庁舎及び各行政センター
「クマＰＡＹ」決済用タブレット端末

【効果】
手数料等の支払に、各種キャッシュレス決済が選択可能となり、市民サービスの向上に寄与するものと考えています。また、キャッシュレス決済の利用機会を広げることで、地域のデジタル化の推進を図ります。

2 特徴やPRポイント

コンビニ交付の推進等と合わせ、デジタル技術を活用した窓口改革の一環として、市民サービスの向上を図るものです。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　松村、中村
連絡先　℡　048-524-1115　　内線　216

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
クマPAY発行事業

1 事業概要

【目的】
地域電子マネー「クマＰＡＹ」の本格稼働を開始し、大手キャッシュレス決済と同様、市内の日常の決済手段として運用します。

【内容】
まち元気商品券として紙で発行していた地域通貨をスマートシティの一環として、デジタルの地域通貨を発行し、市内のキャッシュレス決済手段として定着を図ります。令和６年度は、決済時に決済額に応じて１％を還元します。
また、市で交付している補助金や贈答用での活用を促し、利用拡大に向けた取組を行っていきます。

【効果】
市外に流出している消費を囲い込み、地域経済の活性化を図ります。
また、大手キャッシュレス決済事業者と比較し、加盟店への手数料等がかからない仕組みになっているため、市内事業者のキャッシュレス化も期待できます。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
電子マネーという性質を活用し、市の様々な事業に活用できるシステムを構築し、スピード感をもった運用を実現します。

【ＰＲポイント】
２月１３日時点で、市内の７９６店の取扱加盟店があり、順次拡大中。
利便性の高いキャッシュレス決済です。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　柳川
連絡先　048－524－1111　　内線　499

＜速報＞
令和5年度3月補正予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
クマPAY普及促進事業

1 事業概要

【目的】
市内の取扱加盟店で使える地域電子マネー「クマＰＡＹ」の普及促進や消費喚起を図るキャンペーンを実施します。

【内容】
①「決済時５％マネー還元キャンペーン」の実施（令和６年夏頃予定）
取扱加盟店での支払いにクマＰＡＹを利用すると、決済額の５％を還元します。
②「プレミアム付きクマＰＡＹ」の発行（令和６年秋冬頃予定）
プレミアム率２０％を付与した、プレミアム付クマＰＡＹを発行します。
③「インストア説明会」の開催（令和６年上半期予定）
クマＰＡＹ取扱加盟店とタイアップして、来店者に向けた店頭でのイベント型説明会を開催する。

【効果】
・市内経済の活性化
・クマＰＡＹユーザーの増加や取扱加盟店の拡大

2 特徴やPRポイント

【特徴】
電子マネーという性質を活用し、市の様々な事業に活用できるシステムを構築し、スピード感をもった運用を実現します。

【ＰＲポイント】
２月１３日時点で、市内の７９６店の取扱加盟店があり、順次拡大中。
利便性の高いキャッシュレス決済です。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　金井
連絡先　℡048-524-1111　　内線　508

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
橋りょう点検DX化事業

1 事業概要

【目的】
道路法で義務付けられた５年に一度の橋りょう点検について、デジタル技術等を活用し、点検作業の安全化、効率化及びコストの削減を図ります。

【課題】
現在行われている橋りょう点検については、橋りょう点検車や高所作業車、梯子等を使用する危険性を伴う業務であることから、新規技術者の減少や若手技術者の流出が懸念されています。また、今後、道路管理者、民間コンサルタント共に経験豊かな熟練技術者の減少が予想され、技術者不足や業務の非効率等による維持管理経費の増大が見込まれ、業務の安全化や効率化を進めることが課題です。

【内容】
360°カメラ等により撮影された画像データから点群データによる３Ｄモデルを作成する技術を活用し、３Ｄモデル上で損傷状況等の確認や調書作成を行うことにより点検業務の効率化やコスト削減を図ります。
令和５年度は、デジタル技術を活用した点検作業による実証実験を行い、課題等の抽出や問題の整理を行っています。令和６年度は実証内容をもとに更に試行を行い、令和７年度以降の本格導入に向け実証を進めます。

【効果】
点検作業の効率化が図れ、橋りょう点検にかかるコストを削減することが可能となり、同時に作業の安全性が向上します。また、橋りょうの３Ｄモデル化を進めることにより、修繕設計業務のＤＸ化及び修繕工事のＩＣＴ化への対応や将来的に見込まれるＡＩ等による損傷解析の基礎データの収集の推進を図ります。

2 特徴やPRポイント

熊谷市の管理橋りょう数は１０００橋を超えており、点検作業の効率化やコスト縮減を図ることが大きな課題です。他の自治体に先駆け、橋りょう点検のＤＸ化を進めることにより、コストの削減等に取り組みます。
また、３Ｄモデルの作成に大がかりな機材等は使用せず、国土交通省の点検性能技術カタログに掲載された市販の360°カメラ等により撮影された画像により３Ｄモデルを作成する新技術を活用し橋りょう点検のＤＸ化を進めます。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　建設部維持課課　　担当　金子
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　543

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
都市空間情報デジタル基盤構築事業

1 事業概要

【目的】
令和５年度に「３Ｄ都市モデル」を整備・更新し、オープンデータ化に取り組んできましたが、一層の利活用を促進することで、市民中心に熊谷スマートシティの理念を根付かせ、市民目線での政策立案の推進やまちづくりへの参画を推進します。

【内容】
多世代の市民を対象とした地理空間情報データの操作体験や、浸水３Ｄポリゴンデータを活用し防災に関する知識の向上をはかるワークショップ、市内の県立高校３校と連携し高校生を対象としたまちづくりシミュレーション体験ワークショップを開催します。

【影響・効果】
市内に在住、在学する方に対し、３Ｄ都市モデルに関する更なる情報提供や体験の機会を創出します。
その結果、災害リスクの可視化及び避難時の安全な経路選定への活用による防災意識の向上や、高校生にＪＲ熊谷駅、籠原駅周辺におけるにぎわい創出の提案に取り組んでもらうことで、都市計画の立案への活用や、次世代の担い手の育成に繋がることが期待できます。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
令和５年度には、官民で利用可能な汎用的ＷｅｂＧＩＳの整備を行い、デジタル技術を活用した景観、熱環境、災害リスクなど課題の可視化を行いました。
今後、更なる利活用を進め、ＤＸの推進に向けた多様な機会を創出します。

【ＰＲポイント】
高校生のまちづくりシミュレーション体験は、市内の県立熊谷西高校、熊谷工業高校、熊谷商業高校の探究活動、課題研究の一環として実施する予定です。
３Ｄ都市モデルの活用について、複数の高校（普通科と専門学科）が同一の事業で取り組むことは全国でも珍しい事例となります。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　都市整備部都市計画課　　担当　小谷、小森
連絡先　℡　0493-39-4813（直通）　　内線

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
ワイルドナイツ連携事業

1 事業概要

【目的】
本市を拠点として活動する埼玉パナソニックワイルドナイツや埼玉県ラグビーフットボール協会と連携し、ラグビーが生活に溶け込んだ活気のある魅力的なまちづくりを推進します。

【主な内容】
◇ ワイルドナイツファン交流イベント
市民やファン、ワイルドナイツが一体となり、継続的にチームを応援する機運の醸成を図るため、シーズン終了後に「ファン交流イベント」を実施します。

◇ リーグワン応援バスツアー
国立競技場（東京都）等で開催されるジャパンラグビーリーグワンプレーオフトーナメントにおいて、市民の観戦機会を確保するため、応援バスツアーに対する支援を実施します。

◇ ホームゲーム運営支援
本市で開催されるワイルドナイツのホームゲームに合わせ、チームが行う試合運営等の支援を実施するほか、ファン層拡大等につながる支援を実施します。

2 特徴やPRポイント

ワイルドナイツは初代リーグワン王者に輝き、ラグビーワールドカップ2023フランス大会に11名の日本代表を輩出するなど、日本を代表するラグビーチームであり、本市のスポーツによるまちづくりに欠かせない存在となっています。

3 その他

・令和5年度ファン交流イベント来場者数：約5,000人

※ 資料の有無（　有　・（無））

担当者　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当　楠原、滑
連絡先　℡048-524-1760（直通）　　内線　349

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
プロスポーツチーム等連携事業

1 事業概要

【目的】
本市をホームタウンとして活動するプロスポーツチーム等と連携し、継続的なホームゲームの盛り上げや応援機運醸成等を図ることで、スポーツによる新たな交流やにぎわいの創出を図ります。

【主な内容】
◇ チーム共同プロモーション
本市で開催される試合やチームの認知度の向上、ホームゲーム観戦者の増加を図るため、各チームのマスコット等をデザインしたホームゲームＰＲパネルを市内各所に設置します。

◇ シティドレッシング（広報活動）
市民や市外からの来訪者を含め、地域が一体となりチームを応援する機運醸成を図るため、スタジアム周辺や熊谷駅等において、チームと連携した広報物によるシティドレッシングや広報活動を実施します。

◇ チーム運営支援
チームが実施する市民・転入者向け観戦優待、ホームゲームの試合運営等を支援し、市民のチームに対する愛着の醸成やファン層の拡大を図ります。

2 特徴やPRポイント

【ポイント】熊谷では年間を通してプロスポーツの試合が開催されています
・リーグワン：12月から５月頃まで　・ＢＣリーグ：４月から９月頃まで
・ＷＥリーグ：10月から６月頃まで

3 その他

【本市を拠点に活動しているスポーツチーム】
・「埼玉パナソニックワイルドナイツ」・「アルカス熊谷」（ラグビー）
・「埼玉武蔵ヒートベアーズ」　（野球）
・「ちふれＡＳエルフェン埼玉」（サッカー）

※ 資料の有無（　有　・　無）

担当者　総合政策部スポーツタウン推進課　担当　楠原
連絡先　℡048-524-1760（直通）　内線　349

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷グルメイベント実施事業

1 事業概要

【目的】
平成２９年から３年間、本市を会場として開催された「全国ご当地うどんサミット」では、本市のご当地うどんである「熊谷うどん」のＰＲが行われました。
うどんサミットのレガシーとして、本市における「うどん文化」を引き続き市内外に発信し、市内グルメのＰＲと観光振興を図ります。

【内容】
令和４・５年度に引き続き、広く親しまれている『肉汁うどん』に特化したプロモーションとして、長期間におけるＰＲ効果や店舗周遊増が期待できる冊子作成とスタンプラリーを実施します。本事業については、一般社団法人熊谷市観光協会が実施します。

【効果】
令和５年度のスタンプラリーでは、熊谷市が埼玉県のうどん文化の中心であることをＰＲするため、市内の店舗だけでなく近隣市町の店舗にも御協力をいただいて実施します。また、ＤＸの取組として「クマぶら」を活用し、紙媒体とデジタルタイプの併用も行います。
令和６年度も更なるうどん文化のＰＲのため、参加うどん店舗数の拡大を目指し、ご当地グルメによる地域振興を図ります。

2 特徴やPRポイント

麦栽培の技術を確立した「麦王」こと「権田愛三」の出身地でもある熊谷市では、全国トップクラスの生産量を誇る麦を生かした「うどん文化」が古くから根付いています。
冊子には、架空の物語として、権田愛三の末裔がオリジナルキャラクターのキング・ウィートとして活躍する、熊谷の肉汁うどんを背景としたオリジナルストーリーが描かれます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部商業観光課　　担当　小林
連絡先　℡048-524-1473　　内線　312

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
戦略的人流データ活用事業

1 事業概要

【目的】
イベント来場者のデータを取得し、効果的な広報やプロモーション戦略に活用します。
令和６年度は、中心市街地を東西に横断する星川周辺において歩行者立ち寄りスポットの確保等による人流への影響を３Ｄ都市モデルを使って可視化し、事業の効果を検証することで、今後の施策への検討に活かし、ウォーカブルシティの推進を図ります。

【内容】
携帯電話会社が保有している利用者の位置情報や属性データ（性別、年代、居住地）を取得し、取得したデータから市域全体の混雑度やまちなかの滞在人数の分析を行い、３Ｄ都市モデルを活用して人流を可視化します。
また、可視化されたデータをもとに、ワークショップやデジタルツールを使って、市民等から意見を収集し、新たな施策の検討に活用します。

【効果】
３Ｄ都市モデルを活用した人流の可視化によって、視覚的にまちの姿がイメージがしやすくなり、居心地がよく歩きたくなる空間づくりの施策検討に資することができます。

2 特徴やPRポイント

３Ｄ都市モデルを活用し、オープンデータ化に取り組むことにより、まちづくりのＤＸを推進し、「持続可能なまちづくり」、「人中心・市民参加型のまちづくり」を実現していくことを目指していきます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　斉藤
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　545

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
任意接種費用助成事業

１ 事業概要

【目的】
任意予防接種の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、市民の健康を支援します。

【内容・経緯】
対象となる任意予防接種は次のとおりです。

①大人の風しん予防支援事業
妊娠を希望している女性とその同居者、又は妊婦の同居者を対象に、風しん（麻しん風しん混合を含む）予防接種費用の一部を助成します。（平成２６年度から実施）

②造血幹細胞移植後ワクチン再接種費用補助事業
造血幹細胞移植によって、定期の予防接種で獲得した免疫が低下（消失）し、再接種が必要と医師が認めた方に対し、再接種に係る費用を助成します。（令和４年度から実施）

③９価ＨＰＶワクチン任意接種助成事業
令和５年４月から定期接種となった９価ＨＰＶワクチン接種について、令和４年度中に任意接種した方に対し、費用の一部を助成します。（令和５年４月から実施）

④男子へのＨＰＶワクチン接種費用助成事業
小学６年生から高校１年生相当の男子を対象とし、４価ＨＰＶワクチン接種完了となる３回まで、市で定めた接種費用を上限に助成します。（令和５年９月から実施）

⑤帯状疱疹予防接種費用助成事業
重症化や重い後遺症を引き起こす恐れのある帯状疱疹の発症を抑制するため、ワクチン接種に係る費用の一部を助成します。（令和５年９月から実施）

【効果】
市民の健康保持増進に寄与するとともに経済的負担を軽減し、疾病及び感染症のまん延を防止します。

２ 特徴やPRポイント

・男子へのＨＰＶワクチン接種費用の助成は、埼玉県内では初めて実施しました。
・市は、中学１年生を対象として行っている「生命の授業」において、男女ともにＨＰＶワクチン接種をすることによるＨＰＶの感染予防及びがん予防について啓発を行っています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　市民部健康づくり課（⑤事業）　担当　田辺
市民部健康づくり課母子健康センター（①～④事業）　担当　五十嵐
連絡先　（健康づくり課）　TEL　048-528-0601
（健康づくり課母子健康センター）　TEL　048-525-2722

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
歯科保健事業

1 事業概要

【目的】
定期的な歯科検診の機会を提供し、生涯を通じた切れ目のない歯・口腔の健康の保持・増進を支援します。

【内容】
歯周疾患予防のため４０歳以降の節目年齢に加えて令和５年度から２０歳を対象としている歯科検診について、令和６年度から新たに３０歳を対象に加えます。

【効果】
・歯周疾患の早期発見、早期治療をすることができます。
・早期に歯周病を発見し治療することにより、全身の健康維持につながります。
・口腔の状態が悪化する前に適切な指導が受けられ、かかりつけ歯科医を持つきっかけになります。

2 特徴やPRポイント

２０代･３０代の方は歯科検診を受ける機会がなく、こども医療費の助成もなくなり受診控えをする年代でもあります。歯科検診を受けられる４０歳になったときには口腔の状況が悪化している方が多い状況です。
多くの方が高校を卒業してから受診する機会のない歯科検診の対象者について、令和５年度から開始した２０歳に加えて、令和６年度から３０歳も対象とすることで、生涯を通じた歯科検診の機会を提供できます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・（無））

担当者　市民部熊谷保健センター　　担当　榊・権田
連絡先　℡　048-526-5737　　内線

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
健康マイレージ事業

1 事業概要

【目的】
市民の生活習慣病の予防等を目的に、埼玉県が次期健康増進事業として実施する歩数管理アプリ「コバトンＡＬＫＯＯ（あるこう）マイレージ」に参加し、市民の健康づくりに対する意欲を高め健康寿命の延伸や医療費の抑制を図るとともに、令和６年度以降は、同じく埼玉県が新たに実施する栄養・総合管理アプリ「ＷｏＬＮ（ウォルン）」の活用により、更なる健康増進を図ります。

【内容】
コバトンＡＬＫＯＯマイレージは、１８歳以上の市民の方がスマートフォンアプリで参加することができます。歩数に応じてポイントが付与され、集めたポイントにより賞品獲得のための抽選に参加できます。
栄養・総合管理アプリ「ＷｏＬＮ」では摂取カロリー、体重血圧等のデータ管理や、ＡＩによる健康アドバイスや健康予測機能などが実装される予定となっており、特定保健指導の対象となる方などにアプリの利用を促進し、保健指導などに活用します。

【経緯】
埼玉県と実施してきた現行の「コバトン健康マイレージ事業」が令和５年度をもって終了し、令和６年度から次期健康増進事業としてリニューアルされる歩数管理アプリ及び新設される栄養・総合管理アプリを活用し事業を行うものです。

2 特徴やPRポイント

多くの市民の方に参加していただくため、歩数などの年間の取得ポイントに応じて地域電子マネー「クマＰＡＹ」を差し上げるなどの抽選を市独自で行います。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部健康づくり課　　担当　櫻井・佐藤
連絡先　℡048-528-0601　　内線

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
消防本部庁舎大規模修繕事業

1 事業概要

【目的】
市の消防行政の中心的な役割を担う消防本部・熊谷消防署庁舎の継続する使用を見据えて、熊谷市個別施設計画に基づき大規模修繕工事を実施します。
約４０年にわたり使用された庁舎の老朽化に対処する修繕工事とあわせて、年々変化する業務形態や各種災害対応に必要な資器材の効率的な保管などに対応するため、庁舎の改修を行います。

【内容】
・外壁は補修、防水等の工事を実施します。
・給排水管設備や電気設備の改修工事を実施します。
・屋内は事務室、会議室、車庫等の改修を実施します。
・その他、受水槽など付帯設備の改修を実施します。

【影響・効果】
現在の立地で、現在の施設を有効活用した上で、継続的に使用できる職場環境を整えることができます。

2 特徴やPRポイント

・３階に女性用の仮眠室及びシャワー室を新設し、女性の働く環境を整備します。

3 その他

令和２年度に新型コロナウイルス感染拡大予防のための緊急対策として、仮眠室の個室化改修工事、令和３年度にはシャワー室改修工事を実施しました。これらの場所については工事対象外としています。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　消防本部消防総務課　　担当　金子
連絡先　℡048-501-0119　　内線　494

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
高機能消防指令センター設備更新事業

1 事業概要

平成２０年度に更新整備した指令システム機器のうち、現在まで未更新である通信系、無線系及び電源設備の一部を更新します。
また、ＮＴＴドコモのＦＯＭＡ回線サービスが終了することに伴い、関係する機器の改修を行い、更なる安定稼働を図るものです。

2 特徴やPRポイント

高機能消防指令センター設備は、助けを求める市民と消防を繋ぐ１１９番通報を受信し、各種災害等に応じて消防車両を迅速に出動させるシステムです。
２４時間３６５日稼働しており、老朽化による重大なシステム障害を未然に防止するとともに指令センターの安定稼働を図り、市民の安心・安全に必要な消防サービスを確保するため、設備の更新を実施します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　㊙　）

担当者　消防本部指令課　　担当　神山・福田
連絡先　℡　048-501-0116　　内線　1301

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
IP無線機整備事業

1 事業概要

【目的】
移動系防災行政無線機の代替手段として導入します。

【内容】
画像共有機能などを有するＩＰ無線機を整備し、防災・危機管理体制の充実を図ります。

【効果】
画像共有により災害時の円滑な情報伝達が可能となり、迅速な対応に繋げることができます。

2 特徴やPRポイント

写真や動画により被災現場や出動現場の状況を共有することで円滑な情報伝達が可能となり、迅速な対応に繋げることができるようになります。
また、ＩＰ無線機は、無線局や無線従事者の免許が不要であるため、平時の一般利用もしやすくなります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市長公室危機管理課　　担当　小貝
連絡先　℡ 048-524-1111　　内線　546

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
重度身体障害児者日常生活用具給付等事業

1 事業概要

【目的】
災害による停電時等においても、在宅で人工呼吸器等を使用する障害児者の生命の安全確保を図るため、日常生活用具の給付対象品目に非常用電源装置等を追加するものです。

【内容】
○追加する物品
発電機、ポータブル電源（蓄電池）、DC/ACインバーター（カーインバーター）
○対象者
在宅で人工呼吸器等を使用している身体障害者や難病患者等
○給付の基準額
発電機、ポータブル電源（蓄電池）：100,000円
DC/ACインバーター（カーインバーター）：50,000円
※利用者は、原則1割の自己負担があります（世帯の所得に応じて、負担上限額を設定）。

【影響・効果】
呼吸器機能障害３級以上の身体障害者手帳所持者や在宅で在宅酸素療法が必要な医療的ケア児等の人数を約50人と想定しています。その方々が、豪雨や地震などの災害で停電した時も、発電機や蓄電池等の非常用電源設備を備えておくことで、医療機器を継続して使用できるようになります。

2 特徴やPRポイント

県内では、令和５年４月１日時点で、さいたま市など26市町が日常生活用具の給付対象としています。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部障害福祉課　　担当　矢津田
連絡先　℡　048-524-1451(直通)　　内線　531

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
要介護高齢者福祉タクシー利用料金助成事業

1 事業概要

【目的】
　要介護高齢者の移動手段の確保を支援するため、介護保険の要介護認定を受けた非課税世帯の高齢者に対し、タクシーの初乗り料金を助成します。

【内容】
１　対象者は、以下の条件を満たした高齢者となります。
⑴６５歳以上、要介護１から要介護５までの要介護認定を受けた高齢者
⑵非課税世帯（介護保険料所得段階 第１段階から第３段階 ）
⑶ただし、障害福祉課で実施している「重度心身障害者外出支援事業」（「熊谷市福祉タクシー利用料金助成」、または「熊谷市在宅重度心身障害者自動車燃料費給付要綱（平成18年告示（甲）第18号）に基づく給付」）を受けている者は対象外とします。
２　タクシー券の枚数
⑴年間３６枚（１月あたり３枚）交付します。
⑵利用券１枚あたり初乗り運賃相当額を１回の乗車につき１枚使用できます。
　ただし、乗車料金が初乗り運賃相当額の２倍以上の額である場合は、２枚まで使用ができます。
３　今後のスケジュール
⑴令和６年６月１日から、申請受付を開始し支給条件を窓口にて確認の後、タクシー利用券を交付します。
⑵今年度交付を受けた高齢者には、令和７年３月に令和７年度分を対象者に郵送します。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
・類似する事業は、県内市町村でも実施されています。要介護認定を受けた非課税世帯の高齢者の移動手段の確保を支援します。
【ＰＲポイント】
・要介護高齢者の生活の質の向上、社会参加の促進が期待されます。

3 その他

障害福祉サービスである「熊谷市福祉タクシー利用料金助成事業」にて協定を結んでいる埼玉県内のタクシー事業者等と協定を締結する予定です。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　福祉部長寿いきがい課　　担当　江田
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　280

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
放課後児童保育室整備事業

1 事業概要

【目的】
児童クラブのより一層の充実のため、（仮称）新大里さくら児童クラブ及び（仮称）第２妻沼西児童クラブを新設します。

【内容】
①（仮称）新大里さくら児童クラブ（建替え・吉見小学校敷地内）定員６０人→８０人
②（仮称）第２妻沼西児童クラブ（新設・妻沼児童館敷地内）定員４０人

2 特徴やPRポイント

熊谷市個別施設計画に基づき、老朽化した児童クラブの建替えや小学校の統合を見据えた児童クラブの整備をすることにより、児童の放課後の居場所を確保するとともに、保護者の就労等を支援する環境を整えます。

3 その他

令和６年度に新規に開室予定の児童クラブ、拡充予定の児童クラブ
①第２南児童クラブ（新規・熊谷南小学校敷地内）定員４０人
②第２別府児童クラブ（拡充・別府小学校敷地内）定員４０人→定員８０人
③桜木児童クラブ（新規・桜木小学校内）定員３５人
④第３佐谷田児童クラブ（拡充・佐谷田小学校内）定員３０人→３５人
⑤東児童クラブ（拡充・東児童館内）定員４０人→６０人

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　福祉部保育課　　担当　揖斐
連絡先　℡048-524-1111　　内線　301

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
出産・子育て応援事業

1 事業概要

【目的】
全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう妊娠中から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と「出産・子育て応援給付金」を一体的に実施します。併せて低所得妊婦の経済的負担軽減を図り、必要な支援につなげる「低所得妊婦の初回産科受診料支援」を実施します。

【内容】
妊娠届出時の面談、妊娠８か月頃の面談や電話による相談、出産後赤ちゃん訪問時の面談、随時の相談を継続的に行い、必要な支援につなげます。出産応援給付金は、妊娠時の面談を受けた妊婦に対し、子育ての応援給付金は、赤ちゃん訪問を受けた赤ちゃんの養育者に対し、妊婦健診等の交通費、出産後の育児関連用品の費用、産前産後のサービス利用に係る負担軽減を図るため、それぞれ５万円、計１０万円の現金給付を行います。
また、低所得の妊婦に対して、経済的な理由で産科医療機関を受診できないといった状況が生じないよう、妊娠判定を受けるための初回受診に要する費用について、1回当たり1万円を上限として助成し、未受診妊婦の解消及び母体や胎児の健康増進を図ります。

【効果】
経済的支援と伴走型の相談支援を一体的に実施することで、相談機関へのアクセスのきっかけとなり、必要な支援につながりやすくなります。その結果、ニーズに即した効果的な支援が妊婦・子育て家庭に確実に伴走型相談支援の実効性が高まるものです。

2 特徴やPRポイント

伴走型相談支援と低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援を一体的に実施することにより、両事業の効果的な取り組みがすすむこととなります。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部健康づくり課母子健康センター　担当　黒澤
連絡先　℡　048-525－2722　内線

＜速報＞
令和5年度3月補正予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
学校給食費負担軽減支援事業

1 事業概要

【目的】
食材費高騰が続いている中、子供たちに適正な栄養を提供するために必要な食材費を確保するため、２年連続となる給食費の価格改定を予定しています。しかし、子育て世帯の経済的負担が増すことからこれを軽減するため実施します。

【内容】
来年度１５％程度の値上げ改定を行いますが、その値上げ分を公費負担するものです。

【経緯】
令和５年度に９年ぶりの給食費改定を行ったものの、止まらない食材費高騰の影響で、夏以降の給食について十分な給食費の確保が難しいことが予想されたため、今年度は急遽「子育て世帯学校給食応援事業」を実施し、給食費の上乗せ補助を行いました。同時に給食費等検討委員会で令和６年度の給食費について協議を行ったところ、一律で１５％の値上げが望ましいとの意見が報告されました。

【効果】
給食費値上げを実施し、適正な価格を設定することで、子供たちに理想的な学校給食を提供するほか、地元の生産者等の支援にもつながると考えます。

2 特徴やPRポイント

令和５年度は、県内では４７の市町が物価高騰に係る給食費の減免等の支援を実施しています。

3 その他

※ 資料の有無（　無　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　高橋
連絡先　℡048-524-1651　　内線　547

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
駅前広場冷却ミスト事業

1 事業概要

【目的】
熊谷駅南口の冷却ミストの機器を更新します。

【内容】
暑いまちをクールダウンする取組の一つとして、夏の風物詩にもなっている熊谷駅及び籠原駅前広場の冷却ミストのうち、老朽化した熊谷駅南口の機器を更新します。

【影響・効果】
冷却ミストは、毎年暑い時期になるとニュース番組等で取り上げられ、暑いまちをクールダウンする取組の一つとして夏の風物詩にもなっています。しかし、機器の老朽化により稼働中の故障も起きています。機器を更新することで、熊谷の暑さ対策のアピールと、駅利用客への涼しさの提供を切れ目なく行うことができます。

2 特徴やPRポイント

熊谷駅は、毎日多くの利用客があります。また、近年頻発する猛暑により、暑いまち、暑さ対策のまちとして有名な熊谷への注目度はますます高くなると考えられます。
冷却ミスト装置を安定的に稼働させることは、熊谷の暑さ対策のアピールと、利用客への涼しさの提供につながります。

3 その他

冷却ミストは平成２０年、熊谷駅正面口駅前広場、東口、南口に設置。
令和元年に正面口駅前広場のミストを改修し、正面口県道側に追加で設置しました。
・稼働条件　気温２８℃以上、湿度７５％未満、風速３ｍ未満、降雨なし。
・運転期間　5/1～10/31

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　村上
連絡先　TEL 048-536-1547　　内線　206

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
電気自動車等充電設備普及事業

1 事業概要

【目的】
電気自動車（ＥＶ）やプラグインハイブリッド車（ＰＨＶ）充電設備の設置を促進し、ＥＶやＰＨＶの更なる普及を目指します。

【内容】
次世代自動車振興センターの補助金（以下、ＮｅＶ補助金）を受けて設置した充電設備を補助対象とします。
補助金額は、補助対象経費からＮｅＶ補助金を控除した金額の２分の１とし、上限は３０万円です。

【影響】
ＮｅＶ補助金に上乗せし補助金を交付することで、設置者の費用負担を軽減します。

【効果】
温室効果ガスの排出削減につながります。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
「商業施設及び宿泊施設等への充電設備設置事業（目的地充電）」及び、「マンション、月極駐車場及び事務所・工場等への充電設備設置事業（基礎充電）」を補助対象としています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　大澤
連絡先　℡　048-536-1547　　内線　206

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
省エネ家電普及促進事業

1 事業概要

【目的】
市民に対して省エネ機器の導入を促すことで本市の脱炭素化を促進するため、対象機器の導入について支援します。

【内容】
市内の店舗で省エネ性能の多段階評価点が☆3.0以上の省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、冷凍庫）を購入した方に補助金１万円を支給します。

【効果】
機器の購入を市内店舗・事業者に限ることで、地域経済の活性化に繋げます。また、省エネ機器の導入を促すことで本市の脱炭素化を促進します。

2 特徴やPRポイント

【省エネエアコン】
約20年前のエアコン（7～10畳用）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.0、7～10畳用）へ入れ替えた場合、年間消費電力量301kWh削減、年間電気代9,330円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量137kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると9.8本分になります。

【省エネ冷蔵庫】
約20年前の冷蔵庫（451～500リットル）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.5、451～500リットル）へ入れ替えた場合、年間消費電力量485kWh削減、年間電気代15,030円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量214kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると24.3本分になります。

3 その他

令和５年４月から施行していた省エネエアコンの補助金と令和５年１０月から施行していた冷蔵庫・冷凍庫の補助金を一本化しました。

※ 資料の有無（　有　・　○無　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　清水
連絡先　℡　048-536-1547　　内線　207

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
暑さ対策スマートパッケージ事業

1 事業概要

【目的】
市民や来訪者が夏の暑さの中でも快適に過ごせるよう、風・温熱環境の可視化やまちなかの涼める場所となるクールシェアスポットの利用促進を行い、暑い場所の回避や涼しい場所へ誘導します。
※まちなかとは、熊谷駅周囲２km四方の範囲のことを指しています。

【内容】
市公式LINE「クマぶら」で発信する内容は以下のとおりです。
・まちなかの気象シミュレーションの結果をスマホで表示します。
・まちなかの暑い場所（以下「ヒートエリア」という）にあるクールシェアスポットを優先的に表示し、利用に応じてコミュニティポイント「クマポ」を付与します。特に暑くなるエリアでは、ポイントの優遇付与を実施します。
・まちなかにある道路の相対的温度を可視化します。

【影響】
まちなかの暑さの可視化等で暑い環境の把握をすることで、市民や来訪者の行動変容を促し、夏の暑いまちなかでも、快適に過ごすことが可能となります。

【効果】
・行動変容による暑さ対策
・行動変容によるまちなか活性
・「クマぶら」の利用促進
・暑さ×デジタル化の発信

2 特徴やPRポイント

まちの暑さ状況を知ることで、目的地までより涼しい道の選定やヒートエリアではクールシェアスポット利用に繋がり、人の行動変容を引き起こし、暑さの中でも快適に過ごせます。
市公式LINE「クマぶら」で発信することで、より広い範囲に周知を行うことが可能となります。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　青木
連絡先　TEL 048-536-1547　　内線　207

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
産業祭事業

1 事業概要

【目的】
市内の農・商・工業等の産業情報を紹介し、市内外の消費者に熊谷市の産業に対する理解や関心を深めてもらいます。

【内容】
①開催予定日は１１月中旬から下旬の土日２日開催で、現地における２日開催は令和元年度産業祭以来、５年ぶりになります。
②農産物共進会の開催も令和元年度産業祭以来、５年ぶりになります。
③農産物等の即売
④熊谷染の体験
⑤埼玉県農業大学校の出店
⑥長野県山ノ内町の出店（りんご）
⑦農業委員会による農地活用・新規就農相談
⑧声楽家・オペラ歌手　原田勇雅氏の特別コンサート

【経緯】
平成１７年に熊谷市、大里町、妻沼町が合併（平成１９年江南町合併）したことにより、各市町でおこなっていた同様の催しを統一し熊谷市産業祭として開催しています。今回が２０回目となります。

【期待される効果】
市内の産業・食文化等を市内外の消費者に広くＰＲすることにより、地元の魅力の再発見につながります。

2 特徴やPRポイント

第１１回くまがや交通安全フェア（消防コーナー）、フリーマーケットが同時開催されることにより、市内外から多くの来場者が見込め、熊谷市の産業をより広く知っていただけます。（昨年度１日間で約３万人、本年度は２日開催で約８万人を見込んでいます。）

3 その他

・主　催　熊谷市産業祭実行委員会
　代表者　実行委員会会長　熊谷市長　小林　哲也
　事務局　産業振興部農業政策課　℡048-588－9987（直通）

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　産業振興部農業政策課　　担当　橋本
連絡先　℡　048－588－9987(直通)　　内線　－

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
元気な農業支援事業

1 事業概要

【目的】
農業者の経営安定・発展を支援し、市内農業者数の増加や、農産物の安定供給を図ります。

【内容】
農業者が新規に購入する農業機械に係る経費の一部を補助します。認定農業者は3/10以内、認定新規就農者は5/10以内、いずれも限度額20万円です。認定農業者以外の農産物販売額年額50万円以上の農業者は3/10以内、限度額10万円です。

【効果】
農業者の作業効率化、作業軽減化、農業者の維持、農地の保全等が期待されます。

【事業費】5,000千円

【補助条件等】
・購入する農業機械について国及び県の補助を受けていないこと
・市税に滞納がないこと
・令和６年度に購入した農業機械であること
・農業以外への使途が可能なトラック、バックホー、フォークリフト等は対象外
・２年目の事業。事業期間は令和５年度～令和７年度の３年間を予定

2 特徴やPRポイント

【特徴】
認定農業者、認定新規就農者、それ以外の小規模農業者へも支援を行い、広く農業者を支援します。

【ＰＲポイント】
令和５年度に引き続き実施する市単独補助事業です。自然災害や資材費高騰等厳しい環境にある農業者を応援し、農業の振興を図ります。

3 その他

申請書類、受付期間等は、市ホームページやくまがや農委だより等でお知らせする予定です。

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　産業振興部農業政策課　　担当　田口
連絡先　048-588-9987(直通)　　内線

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
産業団地応援事業

1 事業概要

【目的】
本市の産業の中心である産業団地の共益的な事業を支援することで、良好な産業団地の形成を応援します。

【内容】
産業団地の工業会等が実施する共益的な事業への支援を実施します。

→事業費の３分の１に相当する額（限度額５０万円）を交付金として交付

【効果】
○ 産業団地内の企業間パートナーシップの強化を促進することで、市内企業同士の交流が活性化します。
○ 副次的な効果として、市と産業団地とのパートナーシップを強化します。

2 特徴やPRポイント

本事業は令和５年９月補正で開始しましたが、各工業会への説明の際には、これまで共益的な事業を実施していなかった工業会でも、本事業をきっかけに取り組んでいきたい、と好意的に受け止めていただきました。令和６年度は本事業を通じて各工業会とのパートナーシップをより深めていきます。

3 その他

対象となる共益的な事業（想定）
・共同で管理する緑地や調整池等の維持管理
・区域内の清掃活動に係る経費
・共同運行バス事業
・街路灯の維持管理　　等

※ 資料の有無（　無　）

担当者　産業振興部企業活動支援課　　担当　曽根
連絡先　℡　048-524-1470　　内線　505

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
中小企業SDGs経営・ジギョケイ策定支援事業

1 事業概要

【目的】
　市内中小企業のＳＤＧｓ経営とジギョケイ（事業継続力強化計画）の策定を支援することで、企業価値の向上と稼ぐ力の強化を応援します。

【内容】
次を満たす市内中小企業に１５万円の奨励金を交付します。
・「埼玉県ＳＤＧｓパートナー」への登録
・「ジギョケイ（事業継続力強化計画）」の認定

【効果】
○ ＳＤＧｓとジギョケイに取り組む企業として、企業価値が向上します。
○ 大企業は下請け企業に対してもＳＤＧｓ等への取り組みを求める傾向にあり、企業の稼ぐ力の強化につながります。
○ 中小企業の防災・減災への対策を促し、企業の危機対応力を高めます。

2 特徴やPRポイント

・埼玉県ＳＤＧｓパートナー登録への奨励制度は県内初です。
・それぞれの制度に、金融支援などの支援策や特典が用意されており、登録・認定のメリットがあります。

3 その他

　熊谷商工会議所、くまがや市商工会、ものつくり熊谷と連携し、ＳＤＧｓやジギョケイに関するセミナーの開催、策定支援や相談窓口などの支援体制を構築します。

※ 資料の有無（　無　）

担当者　産業振興部企業活動支援課　　担当　曽根
連絡先　℡　048-524-1470　　内線　505

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
産業DX推進事業

1 事業概要

【目的】
スマートシティの実現、ＤＸ推進による市内産業界の稼ぐ力の向上を目指します。

【内容】
市内事業者のＤＸを促す取組や自社のＤＸを進める取組を、ふるさと納税型クラウドファンディングで募った寄附金をもとに支援するものです。

【経過】
公民連携による市の魅力向上や産業振興についての、民間事業者を交えた対話の中から創り出された事業です。
昨年中にプロジェクトを公募・審査の上、１件を支援対象に認定し、12月からクラウドファンディングを実施しています。（3/13まで）

【影響】
この令和５年度中に認定したプロジェクトに対し６年度予算で補助金を交付するとともに、６年度においてもプロジェクト公募やクラウドファンディングを実施します。

【効果】
行政側のＤＸと並行して市内産業界のＤＸを進めることにより、スマートシティの実現に近づくことが期待できます。

2 特徴やPRポイント

ふるさと納税型クラウドファンディングは、自治体の自主財源確保の手法として注目されています。寄附金を活用して事業が実施されることで、地域産業やそれに関わる多くの方に変化をもたらすことができ、寄附者にとっては、地域貢献につながる取組を応援できることに加え、ふるさと納税による税金控除を受けられるメリットがあるとされています。
産業界のＤＸ推進にフォーカスしたふるさと納税型クラウドファンディングは、極めて珍しいと思われます。

※ 資料の有無（　無　）

担当者　産業振興部企業活動支援課　　担当　湯本
連絡先　℡048-524-1470（直通）　　内線　225

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
池上地区「道の駅」整備事業

1 事業概要

【目的】
（仮称）道の駅「くまがや」の整備を進め、道の駅としての機能に加えて、熊谷流の農業・食文化を「育てる」、「発信する」ことを通じ、産業、観光、市民活動を活性化し、住民や来訪者を「元気にする」地域活性化拠点を実現します。

【内容】
池上地内の国道１７号熊谷バイパスと国道１２５号の交差部に、食のおもてなしと収穫や調理を通じた食育など“食”というテーマと、未来の地域・社会の担い手である「子ども」の成長を支援するというテーマを掛け合わせ、設計コンセプトを「食×子ども」とした個性ある道の駅を整備します。
令和６年度は、引き続き盛土造成工事等を行うとともに、設計等のモニタリングやほ場整備事業により創出される非農用地を事業用地として受け入れる費用を計上します。

【効果】
農業振興、情報発信、地域交流の拠点として地域の課題解決に寄与するとともに、本市の魅力を全国にＰＲし、地域振興を図ります。

2 特徴やPRポイント

・駐車場やトイレのほか、新鮮な地元野菜や鮮魚などを購入できる農水産物直売所、レストランやフードコートなどの飲食施設、さらには、ファミリー層が安心して過ごすことができる屋内遊び場を設けます。
・熊谷市初のＰＦＩ事業により設計から運営までを一括して行うことことで、民間のノウハウを十分に活用することができ、コストの縮減、質の高い経営などが可能となります。

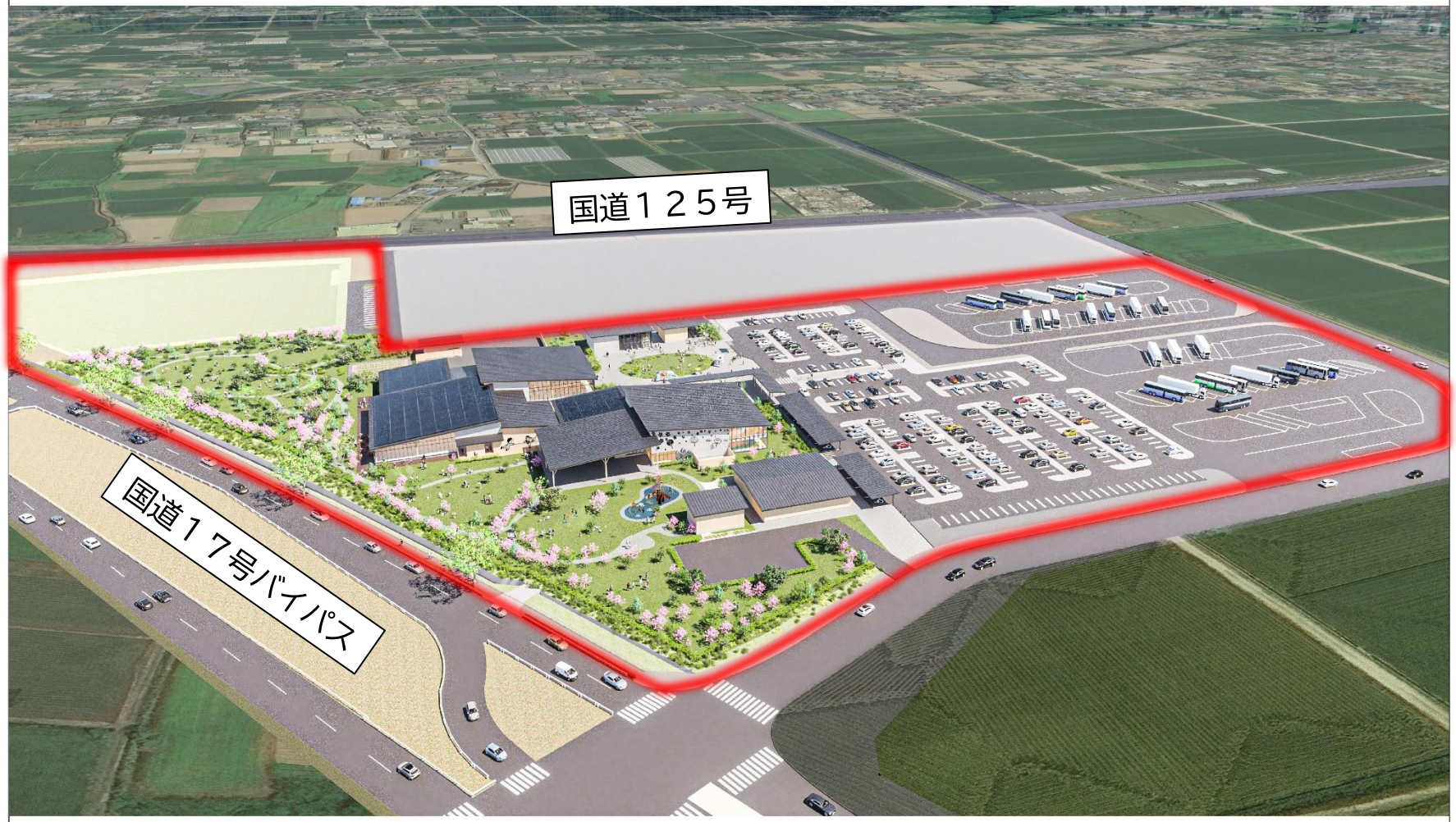
3 その他

令和４年度は、ＰＦＩ事業を実施するにあたり、事業者公募に係る要求水準書を作成・公表したほか、埋蔵文化財の発掘調査、外周道路工事を実施しました。
令和５年度は、ＰＦＩ事業者の選定、盛土造成工事等を実施しています。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　産業振興部東部地域開発推進室　　担当　村松
連絡先　℡048-580-4622（直通）　　内線　532

イメージパース



①鳥瞰パース

※今後、基本設計によりデザインや配置に変更が生じる場合があります。

イメージパース



②外観パース（国道１７号バイパスから）

※今後、基本設計によりデザインや配置に変更が生じる場合があります。

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
MaaS基本計画策定業務委託

1 事業概要

【目的】
燃料費高騰、運転士不足など公共交通をめぐる環境が厳しさを増しています。一方で、高齢化の進展により移動困難者が増加することが想定されており、地域の移動手段の確保のため、ＡＩオンデマンド交通等新たなモビリティの導入検討が求められています。
地域の実情を踏まえ、既存公共交通との連携を図りつつ、効率的な移動手段を確保し、地域の移動手段を確保・維持するため、ＭａａＳ（Mobility as a Service）に係る基本計画を策定します。

【内容】
既存の公共交通との調整を図るとともに、地域の実情を調査した上で地域特性に応じた適切な移動手段を確保するため、ＩＴを活用するなどにより利便性の向上した新たなモビリティの導入を効果的に進めるための計画を策定します。

【効果】
既存の公共交通の利用促進に繋げるとともに、ＡＩオンデマンド等新たなモビリティの導入を検討することで、合理的かつ利便性の優れた公共交通の実現を計画的に進めます。

2 特徴やPRポイント

・令和６年４月からバス運転者の改善基準告示が改正され、バス運転者の拘束時間や休息時間が変更されます。また、バス運転者に必要な大型二種免許保有者数も減少・高齢化が進展しています。このような事情を背景に、ゆうゆうバスはダイヤの見直しを行います。

・市民の高齢化が進展することが推計され、今後、公共交通の需要が一層高まる中、公共交通の充実を図るためにはＩＴによる合理化等が避けて通れないことから、新たなモビリティの導入を検討します。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　蟻川、樋口
連絡先　℡：048-524-1111　　内線　528

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
まちなかウォーカブル推進事業

1 事業概要

【目的】
官民が一体となり、星川通り周辺の滞留空間の整備やグリーンスローモビリティの導入検討など、まちなかに快適に過ごすことができる空間を創出することで、居心地がよく、歩きたくなるまちづくりを推進します。

【内容】
星川通りの広場の整備、グリーンスローモビリティの実証実験に向けた検討、遺贈財産の活用検討や、（一社）熊谷まちなか再生エリアプラットフォームが実施する若者交流拠点や民間ビルの公共トイレの整備等に対する補助を行います。

【効果】
官民が一体となって、まちなかに快適に過ごすことができる滞留空間を創出することで、まちなかで過ごす人々が増え、ゆるやかなにぎわいを生むことができます。

2 特徴やPRポイント

市や地元企業、大学が連携し、令和４年度に策定した「熊谷まちなか再生未来ビジョン」に基づき、（一社）熊谷まちなか再生エリアプラットフォームが実施する事業に補助することで、民の力を活用したまちづくりを推進します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　斉藤
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　545

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
秩父鉄道大麻生No.9踏切交通安全対策事業

1 事業概要

【目的】
地域交通の安全性、利便性向上のため、川原明戸地内の秩父鉄道大麻生No.9踏切を拡幅整備し、隣接する第４種踏切の大麻生No.8踏切を閉鎖します。

【内容】
大麻生No.9踏切を4メートルから6メートルへ、当該接続道路の約50メートル区間については、有効幅員5メートルから6メートルへ拡幅整備し、併せて、遮断機や警報機のない大麻生NO.8踏切を閉鎖するものです。

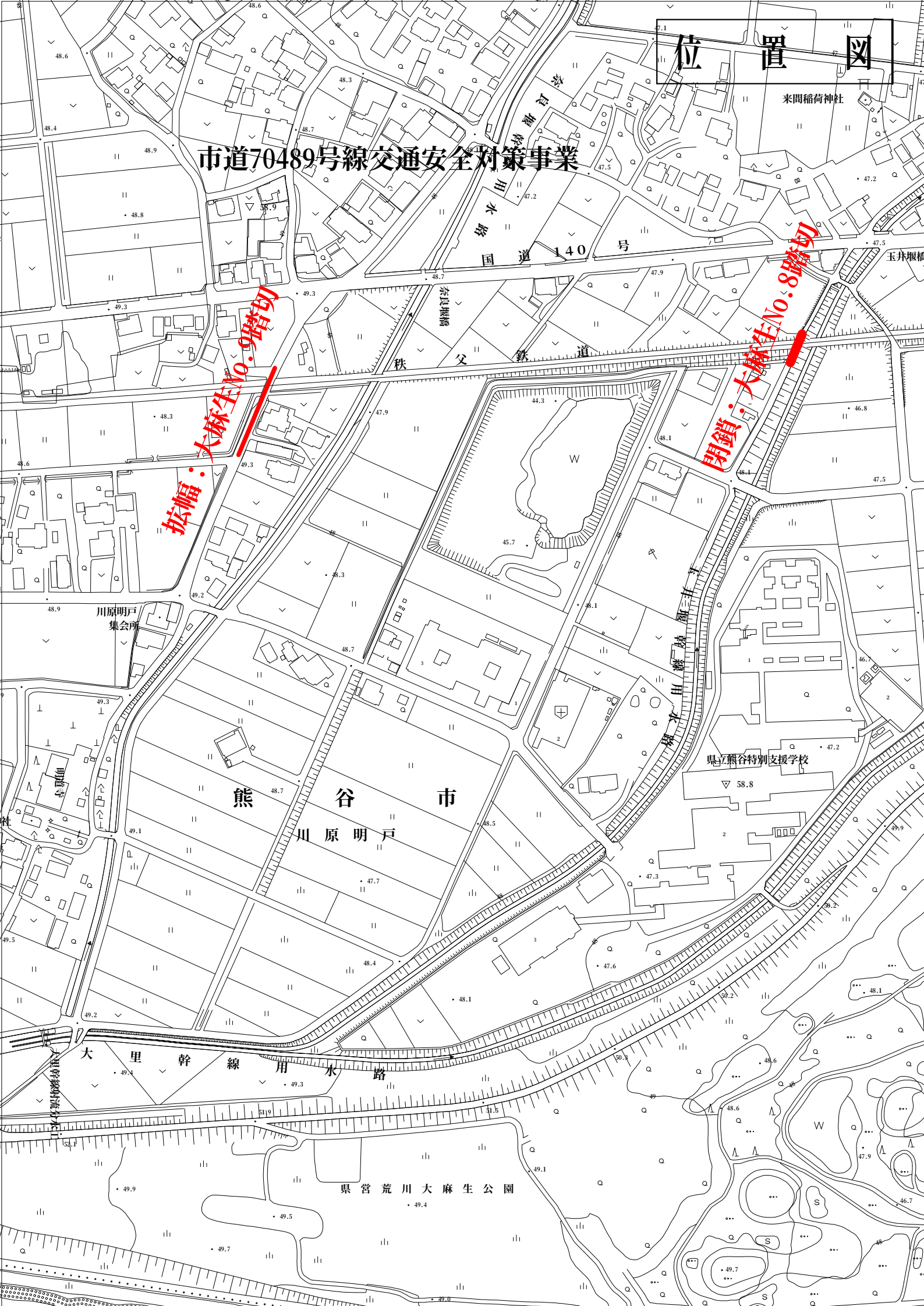
2 特徴やPRポイント

車両のすれ違いが可能となり、地域住民や県立熊谷特別支援学校の送迎等の安全性、利便性の向上を図ります。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　建設部道路課　　担当　川名　竜太郎
連絡先　℡　048－524－1111　　内線　457


位置図
市道70489号線交通安全対策事業
拡幅・大麻生No.9隅切
閉鎖・大麻生No.8隅切
来間稲荷神社
国道140号
玉井堰橋
奈良堰橋
秩父鉄道
川原明戸集会所
熊谷市
川原明戸
県立熊谷特別支援学校
大里幹線用水路
県営荒川大麻生公園

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）万吉村岡線道路改良事業

1 事業概要

【目的】
地域交通の安全性、利便性の向上を図るため、歩道整備と交差点改良をを行います。

【内容】
当該路線（市道90283号線、市道大里68号線、市道大里167号線）を現況幅員5.0mから、計画幅員9.5m（右折帯設置部は12.5m）に拡幅し歩道整備を行います。（歩道幅員2.5m）
令和6年度は、現況測量を行います。

2 特徴やPRポイント

当該路線は大里方面、江南方面を結ぶ主要なアクセス道路となっていますが、幅員が狭く危険な状況です。
歩道を整備と交差点改良を行うことにより、地域交通の安全性、利便性の向上を図ります。

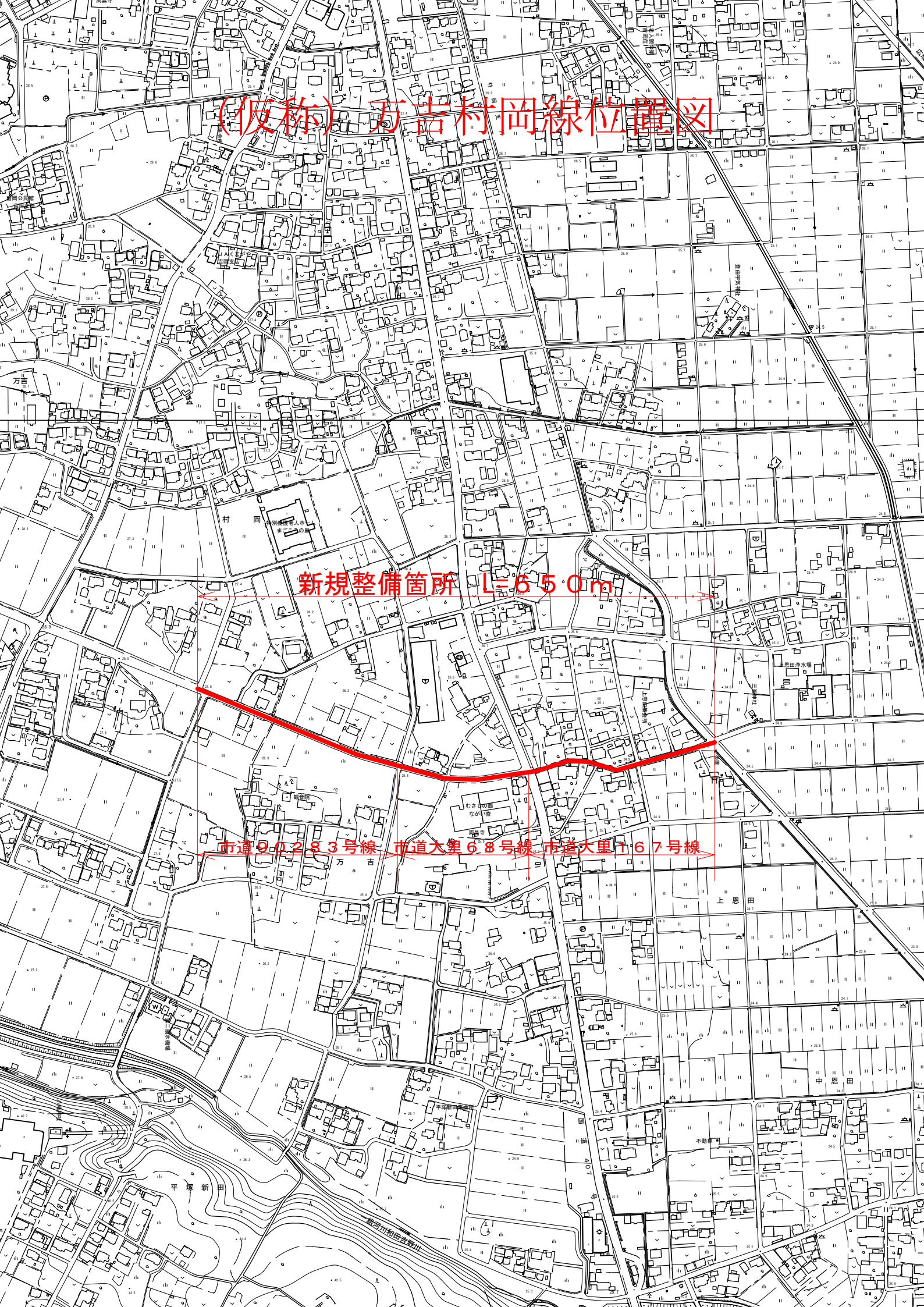
3 その他

【事業予定】
令和6年度から測量等の調査業務を行い用地買収等が順調に進めば令和10年度以降に工事着手の予定。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　建設部道路課　　担当　川名　竜太郎
連絡先　℡　048－524－1111　　内線　457

（仮称）万吉村岡線位置図


新規整備箇所　L=６５０m
市道９０２８３号線
市道大里６８号線
市道大里１６７号線
村　岡
万　吉
上　恩　田
中　恩　田
平　塚　新　田
上恩田浄水場
観音院
不動車

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷駅南口周辺再整備促進事業

1 事業概要

【目的】
熊谷駅南口周辺の民間主体によるまちづくりの事業化を促進し、低未利用土地（駐車場等）の高度利用化を図ります。

【内容】
熊谷駅南口周辺における土地利用の検討として、概略まちづくり基本調査、事業手法や整備区域の検討、設計概略図の作成、民間活力の導入検討調査、庁内や交通事業者等との検討会を開催し、合意形成を進めていきます。

【影響・効果】
熊谷駅南口周辺の民間開発の促進や、低未利用土地（駐車場等）の利用転換による、他のプロジェクトと連動したにぎわいの創出、居住人口や税収の増加等、エリア価値の向上が期待できます。

2 特徴やPRポイント

【特徴・ＰＲポイント】
県北最大の交通結節点かつ市民活動・経済活動の拠点である熊谷駅前の活性化に向けて、エリアの高いポテンシャルを活かした民間開発の機運醸成や、公共空間等の整備による高度利用の実現に向けて都市機能の誘導を促進します。
また、将来的ににぎわいのある駅前空間の創出に繋げるため、一体的なまちづくりを促進します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　都市整備部都市計画課　　担当　小谷、荒川
連絡先　℡0493-39-4814（直通）　　内線

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷運動公園子供広場整備事業

1 事業概要

【目的】
夏場に子どもたちが水で遊べる施設や、スケートボードができる環境整備を求める声に応えるため、公園内に新たな施設の整備を進め、市民に親しまれる公園へとリニューアルします。

【内容】
屋内プールに隣接する広場に、熊谷の暑い夏の新たな憩いの場となるような水辺環境施設を整備します。また、スポーツ環境の向上のため、新たにスケートボードエリアを整備します。

【影響】
幅広い世代に利用いただける施設ができることで、公園全体のイメージアップと活性化に繋がります。

【効果】
新たなレジャー施設として、市内だけではなく近隣市町からの利用増加が見込まれます。

2 特徴やPRポイント

噴水のあるじゃぶじゃぶ池などの水遊び場や、市内で２か所目となるスケートボートができる場を整備することで、親子で楽しめ、屋外で身体を動かす新たな機会を創出します。

3 その他

令和６年度に整備を行い、令和７年度の利用開始を予定しています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　都市整備部　公園緑地課　　担当　杉浦
連絡先　℡　0493-39-4806　　内線

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
生活道路及び排水路の整備の推進

1 事業概要

【目的】
地域の利便性及び通行の安全性に配慮した生活道路の整備と、道路の維持管理を行い生活環境の改善を図るとともに、排水路整備では浸水被害が頻発している地域において浸水被害軽減対策を行います。

【内容】
○道路整備事業
陳情・要望による、地域の狭あいな生活道路の拡幅改良、側溝整備及び舗装新設等を「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」に基づき、必要性・緊急性を評価し実施します。
○道路維持経費
幹線道路や生活道路の老朽化した舗装補修と街路樹等の管理を行います。
○排水路等維持管理経費
排水路環境改善のための整備や除草等の管理を行います。

【効果】
生活道路の利便性の向上、道路の適切な維持管理により良好な生活環境を創出します。また、排水路整備等により適正な流れを確保し、水路環境の改善を図ります。

2 特徴やPRポイント

○道路整備事業
「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」（道路事業評価システム）により、公平性を確保し、効果的に事業を進めています。
○道路維持経費
積極的に補修や整備を行うことにより、地域の利便性の向上や安全の確保が図られます。
○排水路等維持管理経費
除草作業の軽減を図るため、防草コンクリート施工による恒久的な対策を講じます。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　建設部　道路課　担当　中澤
建設部　維持課　担当　金子
建設部　河川課　担当　水野

連絡先　（道路課）TEL　048－524－1111　内線　352
（維持課）TEL　048－524－1111　内線　540
（河川課）TEL　048－524－1111　内線　355

＜速報＞
令和5年度3月補正予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小学校・中学校トイレ整備事業

1 事業概要

【目的】
児童・生徒の教育環境の向上を図るため、学校トイレの整備を計画的に実施します。

【内容】
学校トイレの老朽化対策として、給排水管の改修、トイレの洋式化、床の乾式化等の工事について、校舎の経年数等を勘案し、毎年度計画的に実施しています。
令和６年度に工事を予定していた次の５校について、国から「令和５年度学校施設環境改善交付金」の交付決定を受けたため、令和５年度３月補正予算に計上し、令和６年度に繰り越して実施します。
＜小学校（２校）＞　新堀小学校、妻沼南小学校
＜中学校（３校）＞　大幡中学校、大麻生中学校、江南中学校

【影響・効果】
学校トイレは児童・生徒が学校生活を送る上で欠かせない空間であり、整備を行うことで子どもたちが気持ちのよい学校生活を送ることができます。

2 特徴やPRポイント

「汚い」・「臭い」・「暗い」などのネガティブなイメージがある学校トイレについて、明るく清潔感のある空間に生まれ変わるよう整備を進めていきます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　笠原、角張
連絡先　℡048-524-1111　　内線　517

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
図書館郷土資料デジタル化推進事業

1 事業概要

【目的】
古地図などの貴重な郷土資料の劣化を抑制し、後世に記録を継承するため、デジタル化及び保存処理、レプリカの作成等を実施します。

【内容】
閲覧や経年により劣化した古地図及び本市の戦後の移り変わりを記録した古い写真フィルムのデジタル化及び修復・保存処理を行います。
劣化が著しい古地図についてレプリカを作成します。

【効果】
デジタル化により貴重な資料を長く保存することができます。
また、今後も閲覧に供する古地図については、修復・保存処理により、資料の耐久性が向上します。
レプリカを作成した資料については、レプリカを閲覧に供することにより、原本は保管可能となり、貴重な原本を後世に継承することが出来ます。

2 特徴やPRポイント

3 その他

デジタルデータ化した古い写真フィルムは、現在公開中の「熊谷市立熊谷図書館デジタルアーカイブ」に追加して公開予定です。

熊谷市立熊谷図書館デジタルアーカイブ

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会熊谷図書館　　担当　飯島志保
連絡先　TEL 048-525-4551　　内線

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
展示品レプリカ作製事業



写真出典：ColBase
（https://colbase.nich.go.jp/）

1 事業概要

【目的】
広く市民に熊谷の文化・歴史をＰＲし、郷土への関心を促すとともに、熊谷の歴史を全国発信する素材を作製することを目的とします。

【内容】
郷土熊谷に関連する国宝・国指定重要文化財等について、博物館施設等で展示するための高レベルのレプリカを作製します。
令和６年度製作対象：「埴輪　短甲の武人」（武人埴輪、熊谷市上中条出土、国指定重要文化財）東京国立博物館所蔵

【影響・効果】
熊谷の文化、歴史の再発見とともに市の文化レベルやアイデンティティを高めることができます。また、まちの成り立ちを再認識し、文化財を活用したまちづくりの要素の一つとすることができます。

2 特徴やPRポイント

熊谷市で国指定重要文化財のレプリカの作製は初めてです。教科書にも掲載されている埴輪のレプリカを、熊谷図書館美術・郷土資料展示室の常設展示室で見ることができるようになり、熊谷市の誇りを高めます。
展示室を見学に来る市内在住者だけでなく、市外からの来館者にも、熊谷の誇る文化財について広く周知することができるようになります。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　教育委員会熊谷図書館　　担当　熊谷図書館　大井教寛
連絡先　℡　048-525-4551　　内線

■参考資料　令和６年度当初予算　レプリカ製作対象資料

「埴輪　短甲の武人」（熊谷市上中条出土、国指定重要文化財）東京国立博物館所蔵



時　代／古墳時代・６世紀

出土地／埼玉県熊谷市上中条

法　量／現存高 64.0 ㎝　　台円筒径 23.3 ㎝

写真出典：ColBase（https://colbase.nich.go.jp/）

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「斎藤実盛と妻沼聖天山」マンガ制作事業

1 事業概要

【目的】
国宝・歓喜院聖天堂を有する「妻沼聖天山」及びその開基で全国的に著名な武将「斎藤実盛」をより多くの市民等に知ってもらうため、マンガ形式のブックレットを刊行します。

【内容】
斎藤実盛と妻沼聖天山について、１０点のエピソードにまとめ、マンガ及び解説により紹介します。体裁は、Ａ５判、ブックレット形式、オールカラー、５０ページ（予定）です。

【経過】
令和５年度に刊行する「直実・蓮生物語」に次ぐ、郷土の偉人や歴史を紹介するブックレットになります。

【効果】
市内の全小中学校の児童・生徒への配布を行い、その家族を含めて斎藤実盛と妻沼聖天山について広く知ってもらい、郷土熊谷への感心を深めてもらうことが期待されます。また、有償頒布も行い、広く一般市民の郷土愛を育む機会を設けます。

2 特徴やPRポイント

建造物として県内初で唯一の国宝である「歓喜院聖天堂」など数多くの文化財を有する妻沼聖天山ですが、その歴史的背景については、あまり知られていません。また、その開基である斎藤実盛は、全国的に有名な武将ですが、市内での知名度はあまり高くありません。
斎藤実盛と妻沼聖天山を取り上げることにより、全国的に見ても誇るべき、本市ゆかりの歴史遺産や偉人の存在を、多くの方々に知っていただくことができます。

3 その他

【斎藤実盛】　平安時代末期の武将。『平家物語』で語られる、その最期のシーンは有名で、能や歌舞伎の題材ともなり、関係する史跡は全国に分布しています。

【妻沼聖天山】　斎藤実盛が開いたとされ、県内初で唯一の国宝建造物・歓喜院聖天堂をはじめ、国重要文化財の貴惣門など、数多くの歴史遺産を残す、本市さらには県を代表する寺院の一つです。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会 社会教育課市史編さん室　担当　蛭間　健悟
連絡先　℡　567-0355

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
国際理解促進事業

1 事業概要

【目的】
海外と姉妹都市提携を行い、様々な活動や行事に参加することを通して、その交流を深めることにより、市民の国際理解、国際感覚の醸成を図ります。

【内容】
令和５年に熊谷市とニュージーランド・インバーカーギル市は姉妹都市提携３０周年を迎えました。このことを記念し、熊谷市国際交流協会と連携して、市民訪問団を同市に派遣します。

【影響・効果】
インバーカーギル市とは、中高生を同市へ派遣するホームステイプログラムのほか、本市にある県立高校や大学と同市にある学校が姉妹校提携を結び、相互に学生を派遣するなどの教育交流が行われています。また、両市による市民親善訪問団等の派遣・受入れなど、市民による交流なども行われています。
さらに、令和６年１月からは同市の若者が１名、本市でワーキングホリデーの制度を利用した就労を開始しています。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
市民親善訪問団の派遣はおおむね５年ごとに行われており、前回は平成３０年に派遣しています。

【ＰＲポイント】
姉妹都市提携の記念調印はそれぞれの都市で行っており、令和５年１月には本市が市長訪問団をインバーカーギル市に派遣し、同年７月には同市の市長訪問団が本市に派遣されるなど、親密な関係が続いています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市長公室広報広聴課　　担当　津留
連絡先　℡048－524－1111　　内線　205

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
コミュニティポイント普及促進事業



1 事業概要

【目的】
市民活動、地域活動及びボランティア活動等のコミュニティ活動への参加を促進し、地域コミュニティの活性化や地域のにぎわいの創出につなげます。

【内容】
令和６年３月２９日からコミュニティポイント事業を開始します。名称は「クマポ」です。運用開始年のため、［クマポ」に親しんでいただくきっかけとなるよう、ためた「クマポ」を使うことができる記念品や体験、サービスの充実を図ります。
「クマポ」には大きく３つの場面があります。
一つ目「ためる」です。清掃活動やボランティア活動等、「まちを元気にする」活動に参加することで「クマポ」をためます。
二つ目「つかう」です。ためた「クマポ」で、市内の協力団体が提供するサービスや記念品と交換するなどで「クマポ」を使います。
三つ目「わたす」は、利用者間で「クマポ」をやりとりできる機能です。「感謝の気持ち」として「クマポ」を利用者間でやりとりすることが可能です。

【経緯】
令和５年７月のスマートシティ宣言に基づき、持続性のあるまちづくりのため、コミュニティポイント事業を実施します。コミュニティポイント「クマポ」は、熊谷市公式LINEアカウント内「クマぶら」を入口（ポータル）とします。

【効果】
ポイントの循環で人のつながりをつくり、共助やコミュニティ活動の活性化を図ります。

2 特徴やPRポイント

「クマポ」は換金性がありません。「クマポ」は市内で様々な活動をする方の間で循環するポイントです。「クマポ」は、「クマＰＡＹ」と同じように二次元コードを読み取ったり、見せたりすることで受け渡しが行えます。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市民部市民活動推進課　　担当　遠藤
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　330

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
地域会館整備事業

1 事業概要

【目的】
地域の生涯学習・コミュニティ活動等の拠点となるべき施設として、地域会館を新たに整備します。

【内容】
令和２年度現在の小学校区ごとに、長期的に計３０施設を整備します。令和６年度は、その第一弾として、三尻、佐谷田、大幡、大麻生の４地域（校区）において、整備用地の測量・地質調査の上、建物の設計を行います。各地域において地元説明会を開催し、地域の意見を聞きながら進めていきます。

【経緯】
本市では、長期的な施設マネジメントの一環として、７か所の生涯活動センターと３０か所の地域会館の整備を計画しています。本事業は、そのうちの地域会館の整備に関するものです。

【効果】
老朽化した地域公民館等に代わり、地域の生涯学習、コミュニティ活動等の拠点が引き続き確保されます。老朽化し、耐震性にも課題のある地域公民館等の更新（建替え）としての側面もあります。

2 特徴やPRポイント

より大規模な施設である生涯活動センターとの役割分担を想定し、地域会館自体は小規模な施設（木造平屋建て）とする予定です。ただし、交流スペースの設置、電子錠の導入や高断熱仕様の採用による維持管理コストの低減、ユニバーサル仕様による設計（ユニバーサルシートの設置等）などについて検討しています。子供を含め地域の誰もが使いやすい、従来の公民館以上に親しまれる施設とすることを目指しています。
住民意見の採り入れ方については、事業の初期段階でパブリックコメント（意見公募手続）を行い、地域会館の基本的仕様について市民全体の意見を聞きます。その後、整備予定の各地域（校区）の意見を聞き、可能な範囲内で、基本的仕様をそれぞれカスタマイズ（仕様変更）することを想定しています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会中央公民館　　担当　島﨑
連絡先　℡　048-523-0895　　内線　ー